



交通安全ニュース 2023ちば



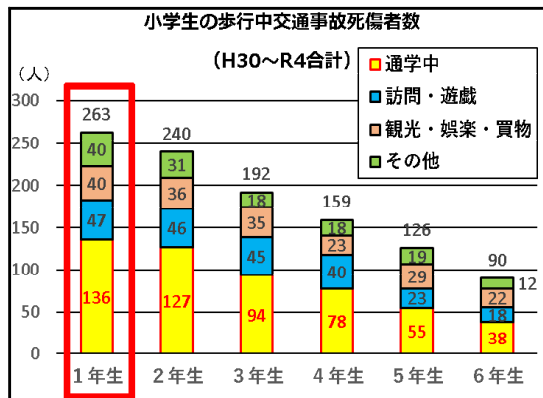
令和5年4月
千葉県警察本部



祝入学！新1年生を事故から守ろう



下のグラフは、千葉県内で過去5年間に、歩行中の交通事故により怪我をしたり亡くなったりした小学生の人数を学年別・通行目的別に表したものです。



【特徴】

- 1年生の事故が最も多く、学年が上がるにつれて減少しています
- 各学年ともに『通学中』の事故が最も多くなっています

【考えられる要因】

小学校入学後は子どもが一人で道路を歩く機会が増える一方、交通ルールや安全確認がまだ十分に身につけていないためだと考えられます。

保護者の方へ…交通ルールをお子さんに「繰り返し」伝えましょう

- 道路を横断するときは「止まる・見る・待つ」を習慣に！

- ① 道路を渡る前に「止まる」
- ② 車が来ていないか「見る」
- ③ 車が通り過ぎるまで「待つ」



- 近くに「横断歩道・歩道橋・信号機」があるところでは、その場所を利用して横断しましょう。横断歩道などが無いところでは、少し遠回りでも、事故に遭わないために横断歩道などを横断するようお子さんに教えてください。

- 自宅周辺や通学路をお子さんと一緒に歩いて、危険な場所や安全な歩き方を確認しましょう。



ドライバーの方へ…子どもの急な動きに備えましょう

- 子どもは興味をひくものに夢中になり、突然路上に飛び出したり、無理に道路を横断しようとする場合があります。
⇒ 幼児・児童だけで歩いているときは、一時停止か徐行をして、安全に通れるようにしましょう。



※子どもに限らず、横断歩道を横断しようとする人がいるときは一時停止の義務があります。



子どもは大人を見ています

まずは大人が交通ルールやマナーを守って
子どもにお手本を見せましょう

Check!



千葉県警察ホームページ「子供の事故防止」→